



湧水影響に配慮を

JR三島駅
南口再開発

4会派が8点要望

三島市議会



豊岡市長に要望書を提出する川原市議(右から2人目)ら
＝三島市役所

三島市議会4会派（改革みしま、緑水会、新未来21、公明党）は7日、JR三島駅南口東街区再開発事業の推進に向けた要望書を市へ提出した。再開発事業者を公募する要領の作成にあたり、要望を反映することを求めた。

要望は▽水利や地盤調査の結果を踏まえ、湧水への永続的な影響がないよう特段の配慮を図り、市民への情報提供に努めること▽費用便益や開発コンセプトなどを満たす事業提案が提出されなかった場合、事業の再提案や白紙化を前提とし、妥協はしないことーなど8点。

要望書は4会派の代表が豊岡武士市長を訪ね、手渡した。新未来21代表の川原章寛市議は「再開発にあたり、不安を抱いている市民

は多いと思う。三島が将来、誇れる町になれるようにともに事業を進めていきたい」と述べ、豊岡市長は「再開発は三島が持続的に発展するために大事な事業。要望をしっかりと受け止めて公募要領に反映できるものはするよう努力していく」と話した。

は多いと思う。三島が将来、誇れる町になれるようにともに事業を進めていきたい」と述べ